

# ～みんなで未来をつくらう～ 錦江町「MIRAI」づくりプロジェクト

将来の錦江町を、日本を引き継ぐ子どもたち。  
私たちの子どもや孫のためにいま私たちに何が出来るか、何をしてあげられるか、一緒に力を合わせて、  
知恵を出し合って考えてみませんか？

## 平成 30 年度新体制！

### 役場「未来づくり課」新設と錦江町まち・ひと・「MIRAI」創生協議会理事会改編

町民のみならずと共に希望あふれる未来づくりを進めていくために、「町民みんなで未来づくり」を強く意識した組織改編を実施しました。新体制で「MIRAI」づくりプロジェクトを更に加速させていきます。

1 「MIRAI」づくりプロジェクトの行政側専任課として、「未来づくり課」を新設し、旧神川中学校事務所で MIRAI 協議会スタッフと協業し、官民連携を更に深めます。

2 MIRAI 協議会理事会を「多様な町民と共に動く理事会」へと改編し、未来づくりに対して強い思いを持つ町民の方々が就任して下さいました。多様なバックグラウンドを持つ理事が担当分野を持ち共に活動します。

## ■どんな未来を目指しているの？

次の4つの未来像を目指しています。

- 1 住民や移住者が、明日への希望を持ってビジネスや地域づくりにチャレンジできる町。
- 2 住民と移住者が一緒になって、世界で勝負できる価値創造型ビジネス創りや新たな集落支援活動にチャレンジできる町。
- 3 なりたいもの、やりたいことがある子どもたちが、夢にチャレンジできる町。
- 4 町民が胸を張って「錦江町に住んでいる」と誇れる町。誇りとワクワク感に満ちた希望の「MIRAI」が想像できる町。

## ■錦江町「MIRAI」づくりプロジェクトとは？

錦江町は深刻な少子高齢化問題を真摯に受け止め、子どもや孫たちに希望あふれる未来を渡していくため、平成 28 年に町の総合戦略を抜本的に見直し、地方創生事業の柱を「未来づくり」に大きくシフトしました。この地方創生総合戦略にかかる事業の総称が「錦江町「MIRAI」づくりプロジェクト」です。

## ■プロジェクトの5つの柱

「MIRAI」づくりプロジェクトは次の5つの柱が相互に連携・補完し合いながら実施されています。

### 1 「土台」づくり

町を活性化するためには、町民の皆さまと行政が町の現状と未来を一緒になって考え、協働していくことが大切です。この「町民みんなで未来づくり」は「土台」をしっかりと築く為の事業を実施し、町の様々な問題を「未来志向」で乗り越える大きな原動力にしていきます。

### 2 「ワーク」づくり

国内全体で進行している人口減少問題は、商売をしている人にとっては、これまでのような消費額や生産量の「総量増加」が難しくなることを意味し、それは残念ながら簡単に止めることは出来ません。これを受け錦江町では、量ではなく「質」を上げることによって、町内事業者の皆さまの「利益の増加」や子どもたちが憧れるような「新しいビジネス興し」、そしてその環境整備を支援する事業を進めていきます。

### 3 「なかも」づくり

錦江町の人口は平成 72 年まで減少し続けると予測されています。当町では、町外から移住者を誘致するために、まずは「真っ当」で「質の高い」様々な取り組みを着実に実

### 4 「人材」づくり

実践し、町に移住してもらいたい方々に国内外問わず直接 PR すること  
で町の『想い』や『実践活動』に共感  
してくれた移住者を柔らかく受け  
入れる体制を整えていきます。

### 5 「新しい絆」づくり

人口減少によって、地域のつながりが薄れていくことに対して不安を感じている町民さん多いと思います。この事業では新しい情報交換手法や仕組みづくり、地域ごとの困りごとの洗い出し、行事・役割の棚卸しなどを通じて、町民の皆さまが『支え合い』を実感しながら、安心して生活できるゆるやかな絆づくりを進めていきます。